

今回は名古屋市はち丸在宅支援センター
センター長 西村 賢司医師からお伝えします



皆さまこんにちは、センター長を拝命した西村です。瑞穂区で開業して21年になりますが、後輩の紹介で19年前から在宅医療に関わるようになりました。当時は市内に有料老人ホームやグループホームなどの施設も少なく、在宅専門医療機関も殆どなく、在宅医療の黎明期でした。各方面に教えを乞いながら、手探りの状態で在宅医療をスタートした記憶があります。

その後、徐々に在宅医療を行う環境が整備されてきました。名古屋市医師会は、地域包括ケアシステムの構築を目的として、名古屋市からの委託を受けて、平成28年4月までに市内16区に「在宅医療・介護連携支援センター（はち丸在宅支援センター）」を開設し、在宅医療の推進と多職種の連携を支援してきました。多職種間で情報共有を行うため、「はち丸ネットワーク」を構築しました。使い勝手が悪いなどの指摘を受け、昨年9月からはスマホで多職種連携のチャットルームを利用できるようになりました。また、今年3月から、同意患者については、医療保険情報、介護保険情報、特定健康診査情報などが閲覧可能となる「医療・介護・健診ビューア」が公開され、さらに利便性が向上しました。

10月の集約化で各区の拠点がなくなりますが、各区専属の担当者を配置し、各区の多職種の皆様との連携が希薄にならないように努めます。

国民の5人に1人が後期高齢者になる2025年に向けて、在宅医療・在宅介護へのニーズは益々高まってくと予想されます。はち丸在宅支援センターは、多職種の皆様との連携を今まで以上に強化して、市民のニーズに応えていく所存ですので、引き続きご支援の程よろしくお願いたします。



各区はち丸在宅支援センターの連絡先（令和5年9月30日まで）

千種区 ☎052-732-0874	瑞穂区 ☎052-852-0874	名東区 ☎052-760-0874
東区 ☎052-933-0874	熱田区 ☎052-683-0874	天白区 ☎052-800-0874
北区 ☎052-982-0874	中川区 ☎052-354-0874	
西区 ☎052-561-0874	港区 ☎052-652-0874	
中村区 ☎052-481-0874	南区 ☎052-823-0874	
中区 ☎052-201-0874	守山区 ☎052-795-0874	
昭和区 ☎052-763-0874	緑区 ☎052-896-0874	



受付時間：月曜～金曜（祝日・年末年始除く）午前9時～午後5時

市内16区センターは、10月1日から市内1拠点に集約され「名古屋市はち丸在宅支援センター」となります。集約後の電話番号は052-971-0874へ変わります。

はち丸在宅支援センターは、名古屋市から委託を受け、一般社団法人名古屋市医師会が運営しています。



●はち丸在宅支援センターホームページ
<https://zaitakukaigo.nagoya/kankei>



はち丸っと



はち丸在宅支援センターは、名古屋市医師会が名古屋市委託事業として実施している「在宅医療・介護連携推進事業」及び「在宅医療体制の整備事業」における在宅療養支援窓口として各区に設置しています。はち丸在宅支援センターでは、在宅療養に関する相談対応を始め、多職種連携の推進、在宅医療の体制整備を行っております。

名古屋市16区に設置している「はち丸在宅支援センター」は、
令和5年10月1日より**名古屋市はち丸在宅支援センター**
となり、1拠点（東区）に集約されます。

平成28年に市内16区に順次開設され、約8年間、各区の関係機関、多職種の皆さまには大変お世話になりました。地域包括ケアを支える1事業である、在宅医療・介護連携推進事業を実施する拠点として、集約後も地域に足を運び、医療と介護の架け橋となるよう、皆さまのご協力をいただきながら事業を進めて参ります。

なお集約後は、各区に設置しているセンターは閉鎖となりますが、各区担当者が地域に足を運び、在宅医療・介護連携推進会議、在宅療養の普及啓発活動、はち丸ネットワークの普及促進などを行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

新名称 名古屋市はち丸在宅支援センター

新住所 〒461-0005
名古屋市東区東桜 1-4-3 大信ビル 2階

受付時間 月曜日～金曜日 9時～17時 ※祝日・年末年始は除く

新電話番号 052-971-0874



令和4年度 ACP研修会

令和4年度で5回目となるACP（アドバンス・ケア・プランニング）研修会が、3月4日（土）にWEB開催され、国立長寿医療研究センター在宅医療・地域医療連携推進部長の三浦久幸先生に「今ここからのACP」をテーマにお話いただきました。

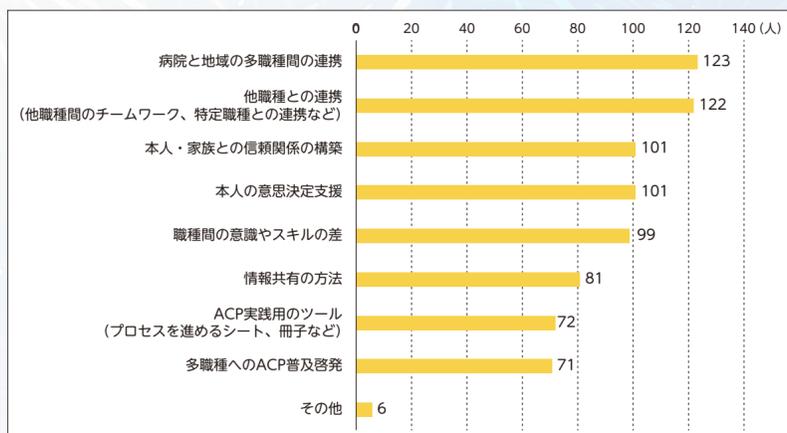
ACPの定義と事例に沿ったプロセスの紹介、そして意思決定を支援するための基本的スキルである Shared Decision Making (SDM)＝共有意思決定支援についての説明など、初めてACPを学ぶ多職種にとって重要なポイントが説明されました。日本老年医学会作成動画「自分らしく『生きる』ために～ ACPってなに?」の一部も視聴し、受講者の方に理解を深めていただきました。

当日受講者295名の職種は、多い順に看護師（158名）ケアマネジャー（40名）医師（27名）薬剤師（17名）歯科医師（12名）であり、看護師では病院の所属が最多でした。

内容については、「非常に分かりやすかった」（約40%）「分かりやすかった」（約50%）、そして研修会受講前と後の比較では、約60%の方から「ACPについてある程度理解できていたが、研修会を受講して理解が進んだ」との回答があり、「理解が進んだ」という回答者は90%を超えました（研修会アンケートより※回答率75.5%）

一方で、理解が難しかった点として、「ACPを開始するタイミング」「共有意思決定支援（SDM）」を多数の方が挙げられています。研修会の内容を実践に活かせるとの回答は約85%ありましたが、実践にあたっての課題も以下のとおり挙げられています。

「ACPを実践するにあたっての課題」（複数回答）



回答からは「病院と地域の多職種間の連携」「他職種との連携」が大きな課題となっていることが分かります。こうしたニーズに対する研修会を、今年度以降も引き続き開催していく予定ですので、是非ご参加ください。



多職種間の情報ネットワークシステム

はち丸ネットワーク

モバイルアプリをご存知ですか

はち丸ネットワークは、在宅療養者の医療と介護の情報を共有するシステムです。

同意いただいた療養者について、名古屋市内の病院・診療所・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーション・介護サービス事業所などをネットワークで結び、スピーディで円滑な情報共有を可能とするICTツールです。皆さまはすでにご利用でしょうか？

モバイルアプリ版は、使い勝手も便利になり、より一層情報共有のハードルが低くなりました。今まではち丸ネットワークへの登録をされていない皆さまも、これを機会に是非利用をご検討ください！



アプリ版のメリット

- VPN接続が不要です
- プッシュ通知、バッジ機能が追加されました
- 生体認証でログインOK！

アプリ版のご利用には、はち丸ネットワークへの登録が必要です。「見てみたい！さわってみたい！使ってみたい！」と思われた方は、是非はち丸在宅支援センターへご連絡下さい。

参加施設数1,623施設 利用者数3,651名 登録患者数85,819名（2023年6月現在）